

# 学校は、今……

地域に支えられた教育へ



これからの時代を力強く生き抜いていくことができるたくましい子どもに育って欲しい。これは、すべての親の願いだと思います。情報の氾濫や価値観の多様化など、急激な社会の変化が進む今日、学校を取り巻く環境も大きく変化しています。私たちは、どのように子どもたちを支えてあげるべきなのでしょう。

子どもたちはもともと、一人ひとり自ら伸びようとする芽を持っています。各小中学校では、子どもたちの個性をしっかり伸ばすため、特色ある学校づくりに取り組む必要があります。

子どもたちの豊かな心を育むための教育の場作りは、新しい局面を迎えようとしています。学校だけではなく、家庭や地域とも手を取り合って子どもたちを育ていくことが大切です。

## 教育活動を支える人々



**教育活動コーディネーター**  
幼稚園・保育園、小・中学校との間で子どもたちの情報交換を行い、スムーズな「育ち」を支援します。



**教育活動支援員**  
低学年の児童を学校生活に適應できるよう手助けし、児童が落ち着いて学習に取り組むことができるように支援します。



**スクールアシスタント**  
地域の専門的な知識や技能を持つ人に協力を依頼し、特色ある学校づくりを推進します。



**心の教室相談員  
スクールカウンセラー**  
いじめや不登校、学校生活などに関する相談を受け、児童・生徒の悩みの解消などを図ります。



**学校図書館司書**  
子どもたちが楽しく本を読むことができる学校図書館にします。

そうした中、田原市では新たに教職員のほかに地域の人々が学校教育へ参加する取り組みを始めています。また本年度から、教育活動コーディネーターやスクールアシスタントを配置しています。今回は、このような活動の取り組みをご紹介します。



ジョージタウン中学生と一緒に